

## 野菜の多品目栽培によるリスク分散経営 ～ 金井 幹雄氏 ～

### 経営体の概要

昭和55年頃 事業実施前の経営規模		➔	平成28年現在の経営規模	
施設野菜	0.05ha (温室メロン)		施設野菜	4.0ha (葉しょうが、レタス、)
露地野菜	1.7ha (ブロッコリー、ねぎ)	露地野菜	10.6ha (ブロッコリー、ねぎ)	
水稲	0.5ha	水稲	1.5ha	

### 取組の経緯と経営転換のポイント等

前歴国営事業により水利施設が整備され、用水の安定供給が図られる状況となったことから、収益性の高い葉しょうがを基幹作物として位置づけ施設栽培により出荷期間の拡大を図った。さらに、年間を通して収入が得られるよう野菜の多品目化と契約栽培に取組みながら規模拡大を進め、経営の安定化を図っている。

### 営農改善のポイント

#### ①作物の変化

需要の見込まれるレタス、ブロッコリー等を取り入れ多品目化するとともに、不作時の収入減少リスクの緩和と繁忙期の作業量を分散化した。これにより年間を通して安定した雇用が可能となった。また、地域の耕作放棄地を借受けることによりほ場が分散し管理コストは増大したが、局地化する気象災害や病害虫による大きな被害は回避が図られている。



営農状況及び後継者

#### ②契約栽培の取組

価格変動を考慮して計画的に出荷できるよう、レタスは作付けの半分は契約栽培に取り組んでいる。ブロッコリーでも契約栽培に取り組んでおり、今後も順次拡大し系統出荷と契約栽培のバランスを重視し、経営の安定化を進めていくこととしている。



葉しょうが栽培状況

#### ③地域ブランド化の取組

生産物の付加価値化による売上げ増大を図るため、地域の営農研究会を組織し、「本庄トキメキ野菜」のブランド名で販売を行っている。消費者へ栽培履歴等の情報を発信し、信頼確保に努めている。

### 事業概要

事業種：国営かんがい排水事業  
 関係市町：藤岡市、本庄市、深谷市、美里町  
 神川町、上里町  
 受益面積：4,019ha  
 事業期間：平成14年～平成24年（昭和42年～55年）  
 事業目的：用水改良、畑地かんがい（畑地かんがい）  
 主要工事：頭首工1箇所、水管理施設1式  
 用水路L=32.7km 等  
 （頭首工1箇所、用水路L=27.6km）



### <問い合わせ先>

関東農政局  
 農村振興部農村環境課  
 営農担当  
 電話：048-740-0037

（平成28年度調査時点）